2. 業務プログラムの実行

2.1 メニューの操作



メニュー画面

LPGXII- (BPF)	
上書 14-09-30 丸菱 LPG販列	売業システムメニュー BPFMENU V130415
初期メニュー	横浜ガス株式会社・新システム BPF
 1 各種問い合わせ 	17 ガス料金定額制 OP
2 販売管理·日次処理(基本)	18 営業支援システム OP
3 請求書、口座振替	19 集中監視接続 OP
4 配送/容器管理	20 灯油配達管理 OP
5 受注、納品管理 OP	21 オートガス売上管理 OP
6 保安管理	22 一般高圧ガス販売・仕入管理(OP)
7 保安調査サブシステム OP	23 一般高圧ガス容器管理(OP)
8 仕入/在庫管理 OP	24 他システムとのデータ交換 OP
9 顧客管理	25 他システムとのデータ交換 OP
10 マスターメンテナンス	26 充填管理 OP
11 マスターリスト	27 コンビニ/クレジット関連
12 月次締め処理	28 随時処理、ユーティリティ
13 年次処理	
14 保証金・解約・コード変更管理	30 データベース切り替え(例)
	31 アクセス社内用
	32 LPGメニューの終了
	実行するプログラム番号 0 ESC
実行するプログラムの番号を、1-32	の数字で入力します。
メニューを終了するには、32を入力し	ます。
OP:	

メニューは、

電源オン

、

「ヒPGメニュー」アイコンを押したときには、常に初期メニューが表示されます。初期メニューから直接実行するプログラムはなく、下位のメニューに切り換えてから実行します。

メニューから何かを実行するには、1~32の数字で画面の項目を指定します。例えば、初期メニュ 一画面から、「販売管理・日次処理(基本)」を実行するには、

[2] 「Enter」

とします。この後下位画面になりますから、例えば、「売上伝票の入力」を実行したければ、

[2] [Enter]

上書 14-09-30 丸菱 L P G 販売業システムメニュー BPFMENU V13041 2 販売管理・日次処理(基本) 日方ス株式会社・新ジステム BPF 1 検針伝票の入力 7 入力データモニタリスト印刷 8 手書き検針伝票印刷 9 担当別売上日計表の印刷 20 商品別売上日計表の印刷 21 得意先別売上日計表 22 売上日計表 23 入金日計表 24 未検針一覧表の印刷 24 未検針一覧表の印刷 	I) LPGXII- (BPF)	
2 販売管理・日次処理(基本) 超振力ス株式会社・新システム BP 1 検針伝票の入力 17 入力データモニタリスト印刷 2 売上伝票の入力 18 手書き検針伝票印刷 3 入金伝票の入力 19 担当別売上日計表の印刷 5 納品書の印刷(一太郎) 21 得意先別売上日計表の印刷 6 検針データを作成 22 売上日計表 7 検針ハンディ送信(USB) 23 入金日計表 8 検針パンディ受信(USB) 24 未検針一覧表の印刷 9 検針データを作成 24 未検針一覧表の印刷	上書 14-09-30 丸菱 LPG販売	売業システムメニュー BPFMENU V13041
1 検針伝票の入力 17 入力データモニタリスト印刷 2 売上伝票の入力 18 手書き検針伝票印刷 3 入金伝票の入力 19 担当別売上日計表の印刷 2 商品別売上日計表の印刷 20 商品別売上日計表の印刷 5 納品書の印刷(一太郎) 21 得意先別売上日計表の印刷 6 検針データを作成 22 売上日計表 7 検針ハンディ送信(USB) 23 入金日計表 9 検針データを更新 24 未検針一覧表の印刷 10 集金データを作成 20 市山市	2 販売管理·日次処理(基本)	横浜ガス株式会社・新システム BPF
1 検針伝票の入力 17 入力データモニタリスト印刷 2 売上伝票の入力 18 手書き検針伝票印刷 3 入金伝票の入力 19 担当別売上日計表の印刷 2 売山 2 商品別売上日計表の印刷 5 納品書の印刷(一太郎) 21 得意先別売上日計表の印刷 6 検針データを作成 22 売上日計表 7 検針ハンディ送信(USB) 23 入金日計表 8 検針データを更新 24 未検針一覧表の印刷 10 集金データを作成 24 未検針一覧表の印刷		
2 売上伝票の入力 18 手書き検針伝票印刷 3 入金伝票の入力 19 担当別売上日計表の印刷 20 商品別売上日計表の印刷 5 納品書の印刷(一太郎) 21 得意先別売上日計表の印刷 6 検針データを作成 22 売上日計表 7 検針パンディ送信(USB) 23 入金日計表 8 検針データを更新 24 未検針一覧表の印刷 10 集金データを作成 24 未検針一覧表の印刷	1 検針伝票の入力	17 入力データモニタリスト印刷
3 入金伝票の入力 19 担当別売上日計表の印刷 20 商品別売上日計表の印刷 20 商品別売上日計表の印刷 5 納品書の印刷(一太郎) 21 得意先別売上日計表の印刷 6 検針データを作成 22 売上日計表 7 検針ハンディ送信(USB) 23 入金日計表 8 検針ハンディ受信(USB) 24 未検針一覧表の印刷 9 検針データを更新 10 集金データを作成	2 売上伝票の入力	18 手書き検針伝票印刷
20 商品別売上日計表の印刷 5 納品書の印刷(一太郎) 21 得意先別売上日計表の印刷 6 検針データを作成 7 検針ハンディ送信(USB) 8 検針ハンディ受信(USB) 9 検針データを更新 10 集金データを作成	3 入金伝票の入力	19 担当別売上日計表の印刷
5 納品書の印刷(一太郎) 21 得意先別売上日計表の印刷 6 検針データを作成 22 売上日計表 7 検針ハンディ送信(USB) 23 入金日計表 8 検針アータを更新 24 未検針一覧表の印刷 9 検針データを作成 24 未検針一覧表の印刷		20 商品別売上日計表の印刷
6 検針データを作成 22 売上日計表 7 検針ハンディ送信(USB) 23 入金日計表 8 検針アンディ受信(USB) 24 未検針一覧表の印刷 9 検針データを更新 10 集金データを作成	5 納品書の印刷(一太郎)	21 得意先別売上日計表の印刷
7 検針ハンディ送信(USB) 23 入金日計表 8 検針ハンディ受信(USB) 24 未検針一覧表の印刷 9 検針データを更新 10 集金データを作成	6 検針データを作成	22 売上日計表
8 検針ハンディ受信(USB) 24 未検針一覧表の印刷 9 検針データを更新 10 集金データを作成	7 検針ハンディ送信(USB)	23 入金日計表
9 検針データを更新 10 集金データを作成	8 検針ハンディ受信(USB)	24 未検針一覧表の印刷
10 集金データを作成	 9 検針データを更新 	
	10 集金データを作成	
11 集金ハンディ送信(USB) 27 入力伝票の取り消し	 11 集金ハンディ送信(USB) 	27 入力伝票の取り消し
12 集金ハンディ受信(USB) 28 入力伝票の更新	12 集金ハンディ受信(USB)	28 入力伝票の更新
13 集金データを更新 29 検針入力の取り消し	13 集金データを更新	29 検針入力の取り消し
<u>30</u> 検針伝票明細を直接修正		30 検針伝票明細を直接修正
15 検針/集金結果の再印刷	15 検針/集金結果の再印刷	
32 全データの保存		32 全テータの保存
実行するブログラム番号 ■0 ESC		実行するフロクラム番号 0 ESC
実行するフロクラムの番号を、1-32の数字で人力します。	美行するフロクラムの番号を、1-32	2の数字で人力します。
[LSC] モーを押すと、初期メニューに戻ります。	[LSC]モーを押すと、初期メニューに戻	ります。
UP.	UP -	

とします。

メニューを上位に戻すには、

[Esc]

とします。初期メニューで、32を入力するとメニューが終了しますから、注意して下さい。 間違って、メニューを終了してしまって、もう一度たち上げたいときは、

「LPGメニュー」アイコンをダブルクリック

します。コンピュータを再起動しても、メニューは起動されます。

2. 2 プログラムの実行/終了

表示されているメニューから、該当のプログラムを見つけ、メニューの番号を数字で、入力します。

メニューから起動後、キー入力が可能になるまで

```
準備中です。少しお待ち下さい。
```

という、メッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示されている間は、何も入力で きませんから、メッセージが消えるまで、数秒待って下さい。

処理プログラムが準備完了すると、そのプログラム固有の画面が表示されます。 このとき、ファンクションキーは、すべてに共通で、次の意味を持っています。

F 1	: キー入力の訂正。項目を1つ戻す。
F 2	: コード順に次に移る。
F 3	: 検針順に次に移る。
F 4	: コードの逆順に移る。
F 5	: 名前による得意先の検索。
F 6	:名前、住所の部分検索。
F 7	:次画面の表示。
F 8	:前画面の表示。
F 9	: 確認「イエス」
F 1 1	: 確認「ノー」
Esc	: プログラムを終了して、メニューに戻る。

- Ocal months		
上書 14-09-30 丸菱 担当 得意先	検針伝票入力 処理年月 前 検針田当 検針田当 検針日	BPF HNDKENS2 V140930 201408
任所		し、北大海県」
電話 検計値 前回指針値 使用量 力ス料金 消費税 面容変動調整 前回使用量 二日	伝票番号 請水項目 売掛残金 リ-ス割減 税込料金 請求額 値引額 今回入金額 差引残金 通子見残金	配送・点旋項目 前回配送日 配送時指計 予測指計 安全率 月平均 予測配送日 配送子定日 保安点後
メータ交換日	入全区分	料金夷
交換使日量	備者	単価
引取指針	PH 5	基本料金
中間ファイル = M·¥I PGDT¥TE	NOOO10 BTR	and the trades
<u>売</u> 掛金 日付項目	<mark> </mark>	メータ変換率 点検結果
		任意区分 税表示
Fn 訂正 検針順	検索 検索2	

実行するプログラムによっては、上記のように、画面の最下行にファンクションキーのガイダンスが表 示されるものがあります。

Lesc キーを押すと、プログラムはその時点でただちに終了します。従って、データの入力中に 誤って押すと、そのデータは入力/更新されず、コンピュータの中では以前のままです。

2.3 プログラムの実行を中断

実行中のプログラムを強制的に中断する方法です。印刷中のプログラムや実行時間が長くて、途中で 止めたいときに使用します。

Windows 7の場合で記述しています。

データの入力待ちの状態では、通常 [Esc] キーで正常に終了して下さい。 印刷中のプログラムは、ほとんどデータの更新を伴っていませんから、中断してもデータには影響はあ りませんが、印刷なしでデータ更新に長時間を要するプログラム(例えば、月末締め処理)もあります から、それを中断する場合は、サポート担当者に相談して下さい。

(1) [Ctrl]と[Alt]を押しながら、[Delete]キーを押します。
 「タスクマネージャー」を起動します。

[タスクバー]を右クリックしても同様の画面が表示されます。

ツール バー(T)	•
重ねて表示(D)	
ウィンドウを上下に並べて表示(T)	
ウィンドウを左右に並べて表示(I)	
デスクトップを表示(S)	
タスク マネージャーの起動(K)	
タスク バーを固定する(L)	
プロパティ(R)	

(2) 「タスクマネージャー」の「アプリケーション」をクリックします。

·ウ(W) ヘルプ(H)
ットワーク ユーザー
状態
実行中 実行中 実行中 実行中
刃9替え(S) 新しいタスク(N))

(3) 終了したい、プログラムをクリック(通常は、今実行しているものになっている)して [タスクの終了]をクリックします。



このような画面が表示されるので、[すぐに終了]をクリックします。 さらに、次のような画面が表示されたら、「プログラムを終了します」をクリックします。

ません
決策を確認できます。プログラムを閉じると、情報
ラムを終了します

数秒で、タスクマネージャの画面から、プログラムが消えます。

(4) タスクマネージャを閉じて下さい。

2. 4 印刷ジョブの削除

<プリントサーバを使用しているときの、印刷データ削除方法です>

- すでに、サーバーに転送されてしまった印刷データを削除したいときがあります。 ①紙がつまったので最初からやり直したい。 ②まちがって、いらないものを、たくさん印刷してしまった。 ③印刷するプリンタを間違えた。 ④紙の位置があっていない。
- このようなときには、次の手順を行います。
 - ①印刷を処理しているプログラムを終了させます。
 (前項の「プログラム中断」で行います。)
 すでにプログラムが終了していれば、この操作は不要です。

以下の操作は、プリンタの接続されているパソコンで行って下さい。 LANケーブルで接続されているプリンタであるならば、自身のパソコンでも良いです。 他のパソコン経由で印刷しているときは、そのパソコンの画面で操作して下さい。

[スタート]をクリックし、設定にカーソルを合わせます。
 次のような画面が表示されるので、「プリンタ」をクリックします。

※「スタート」をクリックしたときに、すぐに「プリンタ」フォルダが見える ように設定されている場合もあります。

	P I	設定(S)	🛛 🔁 IDHO-N KANQ)
20	12207		2 ネットワークとダイヤルアップ接続(N)
Sio		検索©)	
ofes	2	<u> </u>	

②プリンタフォルダが開かれます。

S	I all a la		Ì
ブリンタの追	Canon L ASER	LBP-430	Microsoft
99 <u>0</u>	LAOLN		

LBP-430は例です。 コンピュータの構成によって 名称は異なります。 通常プリンタの機種がわかる ような名前を付けています。 (名前の変更は可能です)

③LBP-430を開きます。

キュメント名	状態	オーナー	進行状況	開始日時	
LPT1 Catch (NWREDIR) LPT1 Catch (NWREDIR)	印刷中	MASAHI MASAHI	0 ハイト / 985 995 ハイト	12:50:05 99/12/04 12:51:01 99/12/04	

④例えば、2番目の印刷待ちデータを削除したい場合

🔹LBP-430					_ 🗆 ×
フリンタ(P) ドキュメント(D) ま	気の	/7°(H)			
ドキュメント名	状態	オーナー	進行状況	開始日時	
LPT1 Catch (NWREDIR)	印刷中	MASAHI MASAHI	0 バイト / 985 995 バイト	12:50:05 99/12/04 12:51:01 99/12/04	
 印刷待ちジョブ数:2個					

ドキュメント名を、クリックして、上例のように反転表示させます。 このまま、「Delete」キーを押すと、2番目は削除されます。

全部を削除したいときは、 プリンタ(P) --> 印刷ジョブのクリア(U) の順にクリックします。

<削除しても、すでにプリンタに転送されたデータは、印刷されます。そのデータを 削除したいときは、プリンタでリセットを行って下さい。リセットのしかたは、プ リンタによって異なります。>

通常は、電源のオフ、オンで行います。

ここまで削除して再開(プリンタをオンライン)したときに、印刷が終了しない場合があります。 それは、Windowsが、エラーを判断して、再試行をしているためです。 その場合は、次の操作を行って下さい。

①「コントロールパネル」-->「管理ツール」-->「サービス」

Print Spooler を右クリックして「停止」する。

物サービス						
ファイル(<u>F</u>) 操作(<u>A</u>)	表示(V) ヘルブ(H)					
← → 💽 🚰 🕢) 🗟 😰 🖬 🕨 🔳 💷 🖦					
🍓 サービス (ローカル)	🍇 サービス (ローカル)	2				
	Print Spooler	名前 /		説明	状態	スター 🔼
	サ <u>ービスの停止</u> サ <u>ービスの再起動</u>	Network Network	CDDE DDE DSDM Cocation	同じコ Dyna ネット	開始	無効 無効 手動
	説明: 遅延印刷をするために、ファイルを読み込ん でメモリに格納します。	NT LM : Office S PDFCre	Security Su Security Su Source Engi atorMessag ance Logs	自動 名前 更新 あらか	開始	于動 手動 無効 自動 手動
		Plug an Portable	d Play • Media Seri	ユーザ Retrie	開始	自動 手動
		Print S Protec QoS R Remot	開始(S) 停止(Q) 一時停止(L) 再開(M) 再起動(E)	D D	4	自動 自動 手動 手動 手動
	↓ \ 拡張 √ 標準 /	<u> </u>	すべてのタス・	ク(K)		4
			最新の情報	(:更新(<u>E</u>)) – – – – – – – – – – – – – – – – – – –	1
上音			プロパティ(ß	ます	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
9 顧客	管理	80 61	ヘルプ(日)			503

②「スタート」-->「ファイル名を指定して実行」から、「SPOOL」を起動する。

ファイル名	を指定して実行 ? 🔀
-	実行するプログラム名、または開くフォルダやドキュメント名、インターネットリソース名を入力してください。
名前(①):	SPOOLI
	OK キャンセル 参照(B)

ファイル(E) 編集(E) 表示(V	ァイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)		
🕲 🕫 - 🕥 - 🍺	🔎 検索 🌔 フォルダ 🔒 🎯 🕻	× 🖌 💷 -	
アドレス(型) 🛅 C:¥WINDOWS¥s	ystem32¥spool	a shared a particular second sec	🔽 🛃 移動
名前 🔺	サイズ 種類	更新日時	
odrivers	ファイル フォルダ	2009/07/22 17:27	
PRINTERS	ファイル フォルダ	2010/05/17 17:13	
prtprocs	ファイル フォルダ	2009/05/11 9:49	
XPSEP	ファイル フォルダ	2009/05/11 9:49	

③ P R I N T E R S を開いて内容を削除する。 下の絵のようになれば、O K。画面を閉じる。

😂 C:¥WINDOWS¥system321	spool¥PRINTERS		
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻)	お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)		.
🌀 戻る 🔹 🕥 🕤 🏂 🎾)検索 🌔 フォルダ 🕼 🎲 🗙	19 •	
アドレス(D) 🛅 C:¥WINDOWS¥system32¥spool¥PRINTERS 🛛 🕑 移動			
名前 🔺	サイズ 種類	更新日時	
-010	リコス 催却	更新口时	1/

④①の手順で「停止」したスプーラを「開始」する。

以上で、プリンタに溜まったデータは削除されました。

伝票類などは、先頭から再度印刷を行うと、用紙がもったいないです。 次に印刷プログラムを実行したときに、用紙の位置合わせ等を確認したら、「印刷開始得意先」 を指定して下さい。このコードは、正常に印刷された最後のコードを指定します。

次の例は、「010101000」までは、正常に印刷されたので、そこから最後までを印刷するものです。(省略すると、先頭から再度印刷されます)

■ 検針請求書印刷						
上書 10-06-10	TS-GAS 検	針 請	求書	ED刷	HNLKENPR	V100517
営業所						<u> 秋公</u> 」
印刷開始得意先 [0]	0101010000 指定のないと 「から」を省町 「まで」を省町	から きは先頭 客したとき 客したとき	「99999999 からすべ きは、先頭 きは、「か	99 <mark>9</mark> まで てを印刷しま 頂から「まで から」から最	Eす。 」を印刷しる 後までを印刷	ます。 削します。
中間ファイルか 中間ファイルの	ら印刷デー?)作成は検針語	タをプリン 青求書印属	ノタ(こ送り 別(HNLKEN	ります。 SY)(HNLKENS	2)で行いまう	す。
印刷を中断した を続けたいとき 印刷が完了した	:ときは、中間 は、上記の :ときは、最待	調ファイリ 印刷開始 後の「確言	レが残って 台得意先 忍」メッt	ています。中 (こ、得意先 ュージで、Y	断した途中が コードを入り esを応答し	から印刷 カします。 します。
フォーム名 印刷件数 印刷先	108 SYSPRT	中間フ; C:¥LPG¥	ァイル名 PRTWRK10	06031140.KE	N	

2.5 データの保存

LPG販売管理のデータは、すべて、LPGDTというフォルダにあります。EXCEL連携や 印刷イメージの一時データは、C:¥LPGフォルダにあります。

通常は、LPGDT内のデータを、毎日および月次で保存して下さい。

保存先は、MOディスク、外部ディスク、CD、DVD、別PCなど任意に決めて下さい。 手動で行う場合は、取り外しができる機器(例えばMOディスク)、自動で行う場合には、 外部ディスク、別PCがよいでしょう。

- 2. 5. 1 LPGデータベースの保存
- (1) 手動で行う場合1

次のようなコマンドを作り、メニューに登録します。例えば、MOディスクを使用するなら ば、月曜〜土曜で毎日交換、月次で新ディスクのように運用するとよいです。

BACKUP. BATの内容

(Y:¥LPGBATに作成)

COPY ¥¥ServserName¥LPGDATA¥LPGDT¥*.BTR E: PAUSE

■ LPGメニュー(新)
上書 08-05-20 DEMO LPG販売
2 販売管理・日次処理(基本)
1 検針伝票の入力
<u>2 売上伝票の入力</u>
<u>3 入金伝票の入力</u>
/ 人力データモニタリスト印刷
9 担当別元上日計表の印刷
10 商品別売上日計表の印刷 11 復会生別支上日計支の印刷
侍息先別売上日訂表の印刷
12 元上日訂衣
13 人団日前衣 14 主検針・監まの何別
14 木(快)町一見衣(いに)刷
16 会データの保友(Mの)
IU エナーダの床仔(MU)

例えば、このように登録し ます。

メニューは、C: ¥LPG¥BPFMENU. TXT です。

(2) 手動で行う場合 2

日にち毎に保存する機能を用意しています。

- メニューの、コマンドを、「C:¥LCLNAP¥BPFBAT¥BACK日次起動.BAT」にします。
- (内容)
 - rem
 - rem このバッチを、スケジューラから起動する
 - rem

C:¥LCLNAP¥BPFWIN¥MSNITBA3.EXE C:¥LCLNAP¥BPFBAT¥BACK日次.BAT

BACK日次.BATを、任意に変更します。

(内容)

MD E: ¥BACKUP¥LPGDATA¥DAY%1

XCOPY D:¥LPGDATA¥*.* E:¥BACKUP¥LPGDATA¥DAY%1 /S /F /E /H /R /Y /C /D /K

(3) 自動で行う場合

毎日、決めた時間に、2の手順を自動的に実行するように設定することができます。

(2) で作成した、C:¥LCLNAP¥BPFBAT¥BACK日次起動.BATを、「タスクスケジューラ」で、 任意の日付(=毎日)時刻で登録しておきます。

(4) 月次データの保存

月次の場合も、保存する内容は同じです。 しかし、毎日実行する必要はないので、プログラムを分けています。 使用するプログラムは、MSGETBAK.EXEです。 [手順] MSGETBAK.INI を作成します。

MSGETBAK. INIの内容

[WINDOW] MainWinPos=0,0 MessWinPos=0,0 MaxButton=yes IconButton=yes SysMenu=yes OpenSize=Normal WinSizeChange=on WindowTitle=(無題) MessageWindowTitle=(無題) MainWinSize=102,29 [MSGETBAK] ¥¥ServerName¥LPGDATA, E:¥BACKUP¥月次 (複数行記録

(複数行記述できます)

月次yymmというフォルダを作成してコピーします。yymmは、当年当月です。

[◎] E:ドライブ上のBACK¥LPGDATAフォルダ内に、DAY01~DAY31 のフォルダが作られ データが保存されます。

- 2.5.2 ハンディなどの日次データ
- (1) 検針データ(Prea検針)



REM カード内でバックアップし、現ファイル名は削除 COPY K:¥URIA.D K:¥URIA.SAV DEL K:¥URIA.D

(2) 集金データ(Prea集金)



(3) 配送データ(BT1000)



BT1000からの受信データは、3つに分かれているが、そのまま保存せず、更新形式に 変更した、HAISORCV. DATを保存する。